

八千代市教育委員会会議録  
平成30年1月第10回定例教育委員会

1 期 日 平成30年1月17日(水)  
開 会 午後1時30分  
閉 会 午後1時53分

2 場 所 教育委員会庁舎大会議室

3 出 席 者

教 育 長	加 賀 谷 孝
委 員	石 井 伸 一
委 員	須 堯 福 美
委 員	佐 藤 志 津
委 員	川 嶋 一 永

4 事 務 局

教 育 次 長	大 澤 紀 子
教 育 総 務 課 長	斎 藤 仁
学 務 課 長	相 馬 剛
指 導 課 長	渡 邊 敏 雄
保 健 体 育 課 長	設 楽 憲 一
教 育 総 務 課 主 幹	蕨 茂 美
学 務 課 主 幹	兒 玉 健 司
指 導 課 主 幹	高 木 雅 晴
保 健 体 育 課 主 幹	加 藤 英 昭
郷 土 博 物 館 長	清 藤 一 順
少 年 自 然 の 家 所 長	平 岡 広 充
教 育 セ ン タ ー 所 長	白 井 聡
適 応 支 援 セ ン タ ー 所 長	稲 毛 英 三
青 少 年 セ ン タ ー 所 長	斎 藤 新 一
学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	平 田 博 史

## 5 開 会

○加賀谷教育長 ただいまから定例教育委員会を開会いたします。議事の進行を行う委員の指名を行います。八千代市教育委員会会議規則第20条の2の規定により、教育長において、石井委員を指名いたします。石井委員、よろしくお願いいたします。

## 6 署名人の指定

○石井委員 それでは、署名人の指定を行います。加賀谷教育長のほか、佐藤委員にお願いしたいと思います。

○佐藤委員 わかりました。

## 7 前回会議録の承認

○石井委員 平成29年12月第9回定例教育委員会会議録の承認につきまして、質問がございましたらお願いします。

<質問なし>

○石井委員 では、お諮りいたします。平成29年12月第9回定例教育委員会会議録を承認することに、ご異議ございますか。

<異議なし>

○石井委員 ご異議なしと認め、平成29年12月第9回定例教育委員会会議録は承認されました。

## 8 教育長報告

○加賀谷教育長 定例教育委員会教育長報告は、2項目ございます。

はじめに、平成29年第4回定例市議会について報告いたします。

今議会の会期は、11月29日から12月22日までの24日間でございます。

提出されました案件は、議案として、

・条例の一部改正案 7件

- ・補正予算案 12件
- ・専決処分の承認案 1件
- ・指定管理者の指定案 4件
- ・路線の認定案 1件
- ・人事案 1件

以上、26案件でございました。このうち教育委員会に関する案件といたしましては、補正予算案1件でございました。

一般質問につきましては、12月5日から8日の4日間で行われまして、17名の議員から質問があり、教育委員会に関する質問は、14名からでございました。

何点か取り上げますと、

- ・小中学校のエアコン設置
- ・ICT（情報通信技術）化について
- ・特別支援学級の充実

などございました。

文教安全常任委員会において、常任委員会に付託されました教育委員会に関する案件につきましては、原案のとおり可決すべきものとして決定されました。

また、12月22日の総括審議におきまして、専決処分の承認案1件が原案承認、人事案1件が原案同意、ほか24件は原案どおり可決となりました。

次に、平成30年1月7日に開催いたしました、平成30年八千代市成人式についてご報告いたします。

本年における市内の成人式対象者は、男性1,022名、女性948名の合計1,970名となり、当日の出席者は、男性670名、女性636名の合計1,306名となりました。

出席率は66.3%で、昨年より2ポイント減となりました。

オープニングセレモニーでは、和太鼓集団「琉翔<sup>りゅうしょう</sup>」による迫力のある演奏が行われました。式典後に行われた記念行事では「ハタチ100%～Dream Believe Achieve～」をテーマとし、公募による若者で構成されたプロジェクトチームが、会場内での展示や八千代市PR大使とのトーク、当時の恩師からのビデオレターを上映するなどの企画・運営を行いました。

なお、成人式の事業運営におきましては、青少年育成関係団体等の市民が

ランティアの方々にもご協力をいただきました。以上で報告を終わります。

〈質疑・応答〉

**○佐藤委員** 定例市議会についてですが、何名かの議員から特別支援学級の充実について質問があったと思います。介添人の方の働き方や時間等の質問が多かったと思うのですが、近隣市と比べてどれくらいの規模で配置されているのでしょうか。

**○指導課長** 近隣市におきましては、千葉市の場合は約3校に1名、船橋市の場合は地区で何名というような設置の状況です。

本市におきましては、特別支援学級1学級について、原則1名を配置するという内容の要領を策定し、対応しております。生徒の実態、学校の実情に合わせて、他市に比べて多く配置させていただいております。

**○佐藤委員** 1学級に1名ということですが、何かそれで不具合や、介添人の方が帰られた後の子どもたちが心配という話が一般質問で出ていたのですが、そのような不安等は本市ではあるのでしょうか。

**○指導課長** 介添人の配置につきましては、学校長と協議をいたしまして、その学校の状況、生徒の状況に合わせて配置をしているところでございます。一般的に見ますと、絶えず大人が付いていれば教育効果が上がるという考え方もあるのですが、特別支援教育の場合は将来的に「自立」を目的として教育を進めていますので、そのような観点から見ますと、必ずしも大人が付いていることが教育効果を高めることに繋がらないということがありますので、現状をしっかりと踏まえた上で配置をさせていただいております。

**○佐藤委員** これからも支援の充実に向けて学校とよく連絡を取り合っただきたいと思います。よろしく申し上げます。

**○石井委員** 介添人の働き方の部分に関して、今後、市として協議や変更していくことを考えているのでしょうか。

**○指導課長** 文部科学省も働き方改革を推進する中、介添人の働き方についても考えていく必要があります。本市においても、限られた予算の中で効率的に運用できるようにシフト制を組む等、勤務体制の工夫を図っていきたいと考えております。

また、「介添人」という名称につきまして、色々な現場から名称変更の要望の声が上がっております。近隣市では、その名称を使っているところが少

なくなっています。そこで、本市におきましても来年度の4月から「介助員」と名称変更をしていく方向で進めております。

**○須堯委員** エアコンの事について色々質問が出ていました。私が現場にいた時に特別教室にエアコンが設置された際にはよかったと思いましたが、普通教室にも設置されるのは夢のようなことです。

たくさん費用がかかりますが、P F I方式にすると安く見積もることができるということで、良いことだと思います。今までは維持管理が市で一括だったのが、P F Iが入った分野についてはそちらの方の維持管理になるということですが、1つの学校で維持管理の方法が異なると、大変なのではないかと思ったのですけれどその点はいかがでしょうか。

**○教育総務課長** 新しく入れる空調設備と既存の空調設備を合わせて一緒に管理・運営できないかということをお願いしていきたくと考えております。他市の事例で、以前あったものを、新しく導入するP F I事業者が同じように管理しているところがございますので、検討しながら、学校に迷惑がかからないように、また、管理・運営が上手くいくような方法で導入していこうと考えております。

**○川嶋委員** 機器とメンテナンスは同一会社なのでしょうか。

**○教育総務課長** まず前提としまして、P F Iの導入も可能ということで、P F Iによる導入が決まったということではございませんが、P F Iにより導入する場合におきましては、設置の業者と管理の業者をまとめて発注するような形を考えております。

**○川嶋委員** 以前、各市町村でパソコンを入れる時に「1円入札」というものがありまして、入札が安くて機器も安くて、メンテナンスで費用を重ねていくというのが結構多かったので、今回もそのようなことが問題にならないような契約でお願いしたいと思いました。

**○教育総務課長** そのようにしていきたいと考えております。

## 9 議 事

議案第1号 附属機関の委員の委嘱について

○教育総務課長 議案第1号について提案理由の説明  
(概要)

提案理由：委員の任期満了に伴い、次期の委員を委嘱いたしたい。

〈質疑・応答〉

なし

○石井委員 議案第1号について採決を求める。

〈異議なし〉

採決の結果、議案第1号は原案のとおり承認されました。

## 10 その他

**○指導課長** 八千代こども親善大使在日タイ王国大使館訪問についてご報告いたします。

去る12月14日に東京にあります在日タイ王国大使館に八千代こども親善大使12名が訪問し、タイ語での自己紹介後に八千代市の特色をプレゼンテーションするとともに、タイ王国の歴史や経済文化についての質問を直接タイの方に聞くことで理解を深めました。

過去、タイ王国との交流を開始してから約30年になりますが、大使館訪問は、今回がはじめての企画で、とても貴重な体験と研修を行うことができました。この経験を活かし、今回の派遣では交流を深めてまいりたいと考えております。

**○教育センター所長** 教育センターから、「教育活動調査研究報告書第43集」の刊行についてご報告いたします。

本年度は、「子供のコミュニケーション能力Ⅱ」というテーマで調査を行いました。平成16年度に同じテーマで調査しており、13年前との比較から変容を見取ることもねらいとしています。内容につきましては、お手元のダイジェスト版にまとめております。

調査内容を一部申し上げますと、「よくコミュニケーションをとるのは誰ですか」という問いに対し、16年前と比較して「担任の先生」と回答している割合が2倍から3倍に増えていました。

また、「将来のためにコミュニケーション能力を高めることが大切」と考えている児童生徒がとても多く、特に中学校3年生はすべての生徒がそのように考えていることがわかりました。

こうした実態把握は「これから身に付けさせたい資質・能力」といわれる

この能力をどのように育てていくかを考える際に貴重な資料となると考えています。昨日の、教頭研修会においても、教育次長による「これからの学校教育」というテーマについての研修の際に資料として活用いたしました。

報告書は、各学校や関係諸機関に配布するとともに、教育センターのホームページにも掲載してございます。

### ○保健体育課長 保健体育課から2点ご報告いたします。

1点目は、千葉県中学校新人体育大会についてです。団体戦及び個人戦の結果は、資料の通りです。

八千代市予選を勝ち抜いた各種目の代表校や個人が県大会に参加し、団体4種目・個人5種目で3位以上の成績を収めることができました。

団体の部では八千代松陰中学校の男子バスケットボール部、新体操部、女子硬式テニス部が優勝、八千代中学校ソフトボール部が準優勝の成績を収めました。

個人の部では、2年100mで高津中学校の白石雄大くんが、大和田中学校の山田彩夏あやかさんが女子砲丸投げで優勝しました。次に八千代松陰中学校の中田誠也なかだせいやくんがレスリング66kg級で準優勝、伊藤秀一郎しゅういちろうくんが66kg級、西川歩あゆむくんが59kg級で第3位の成績を収めました。

2点目は、「第27回コミュニティーワールドカップサッカーin八千代」についてです。

昨年12月23日から26日まで八千代市総合グラウンドを中心に開催され、無事に終わることができました。

今回も韓国をはじめ、北海道から沖縄まで各地のチームとサッカーを通して交流を深めることができました。天候にも恵まれ、どの試合も白熱した好ゲームが展開されました。

大会開催にあたりまして、教育委員をはじめ、会場の準備や提供、選手や役員の派遣、試合の応援等、多くの方々のご協力をいただくことができました。ありがとうございました。以上でございます。

### ○教育総務課主幹 八千代市文化財通信「財たからやちよ」No.2・No.3の発行についてご報告します。

「財やちよ」は、市制施行50周年を記念して平成29年1月1日に創刊しました、文化財に関する情報の発信誌です。

発行部数は約1,000部で、市内の小中学校や図書館・公民館など多く

の公共施設に配布しておりますほか、支所など多くの窓口へ配布の依頼をしております。

最初にNo.2をご覧ください。市指定文化財「村上の神楽<sup>かぐら</sup>」と「羯鼓<sup>かっこ</sup>」を特集しております。村上の神楽は、村上の七百餘所神社<sup>しちひやくよしよ</sup>の神楽殿で年2回舞われております。俗に十二座神楽と呼ばれているものですが、九座のみが現在に受け継がれています。起源は定かではありませんが、羯鼓の内側に天正11年4月8日製作という墨書<sup>ぼくしよ</sup>があり、関係があるのではないかと考えられています。天正11年（西暦1583年）は、本能寺の変の翌年に当たります。

次にNo.3をご覧ください。市指定文化財「高津のハツカビシヤ」と「高津新田のカラスビシヤ」の二つのオビシヤを特集しております。オビシヤとは、年頭に行われる産土様<sup>うぶすなさま</sup>に係わる神事で、市内の多くの地区で行われていますが、弓で的を射て一年の豊凶を占う神事を伴うのは、この二つだけです。起源は定かではありませんが、高津には宝永8年（西暦1711年）の古文書が残されており、その時には既に行われていたことがわかっております。

身近に残る貴重な文化財を後世へ伝えていくため、「財やちよ」を活用し、広く市民へ周知していきたいと考えております。以上です。

<質疑・応答>

なし

## 11 閉 会

**○加賀谷教育長** 以上をもちまして、本日の定例教育委員会を閉会いたします。